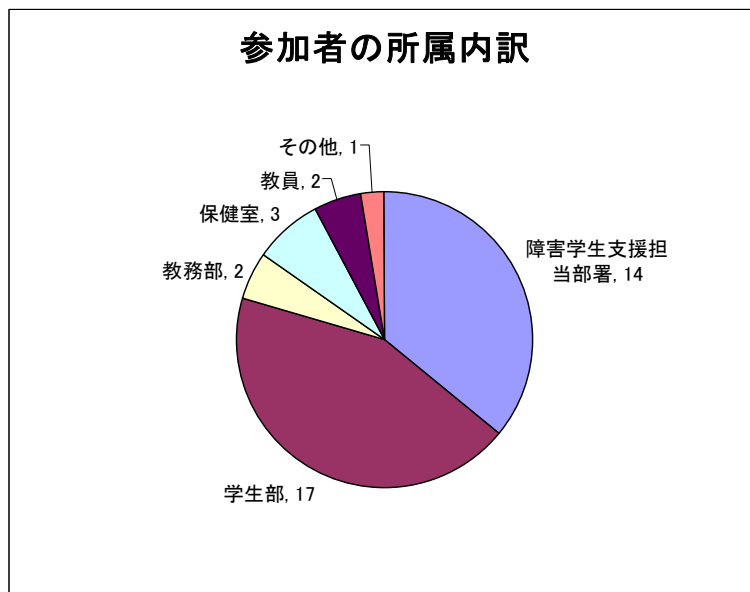


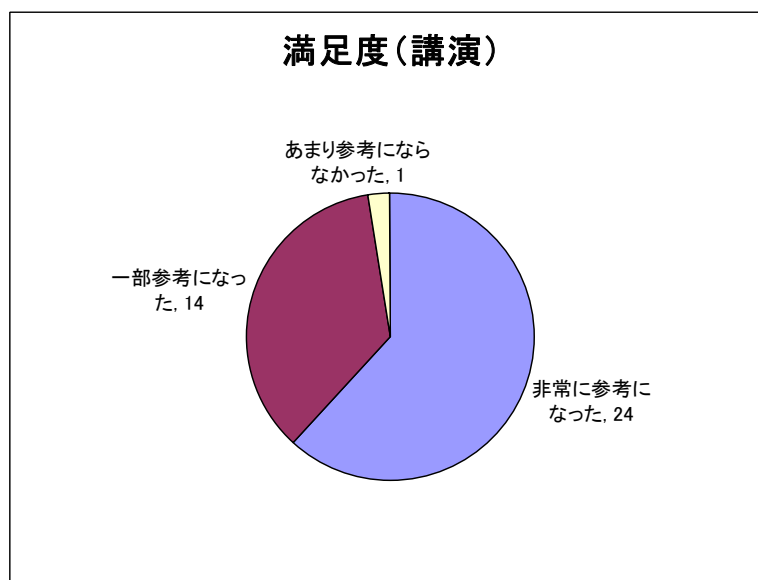
第9回 関西障害学生支援担当者懇談会 アンケートまとめ

有効回答数：39（参加者数52名）

1. 参加者の所属内訳



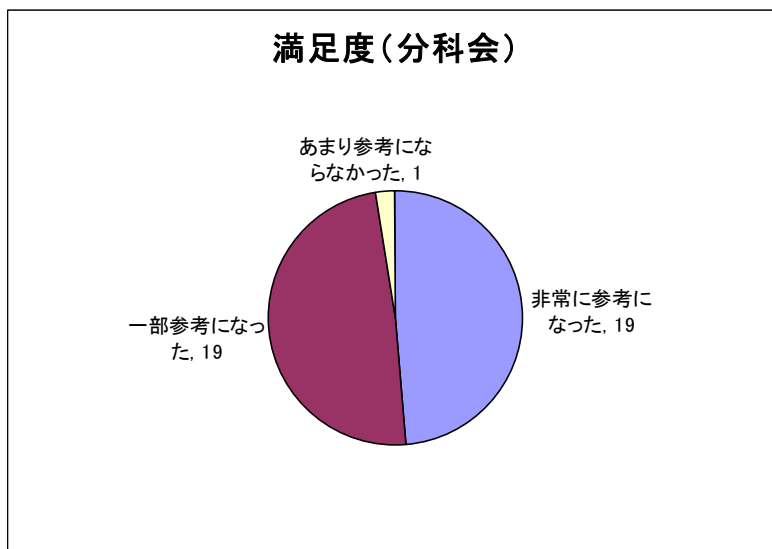
2. 講演の満足度



【講演で取りあげて欲しいテーマ】

- ・ 何と言いますか、「戦略的な（その場その場での対応ではなく、計画的に推進するためには、どのように考えれば良いのかということ）」障がい学生支援の取り組みについて、先進的な事例を知りたい
- ・ 障害支援の考え方、捉え方
- ・ メンタル面の不安を持つ学生対応（未治療者の対応）
- ・ 発達障害学生のキャリア支援
- ・ 発達障害について
- ・ 障害者の入学前面談について
- ・ 分科会でも少し話題に上がりましたが、発達障害を持っていらっしゃる方、又は本人には気づいていないケースもふくめて各大学での取り組みや支援方法などについてお聞かせいただければと思います
- ・ 障害学生の学生生活（キャンパスライフ）支援について
- ・ 障害学生に対する授業の代替措置はどの様にしているのか
- ・ 発達障害学生の対応／発達障害学生支援
- ・ 大学内での支援（連携の取り方、情報共有）
- ・ 発達障害の学生の支援についての具体例
- ・ 高校側からみた、大学進学の問題、思うところ（障害を抱えた生徒の）
- ・ 大学の規模や、資格、実習等の専門分野ごとの分科会に分けての意見交換
- ・ 入学前面談のメンバー構成員や聞き出すポイント
- ・ 支援内容について。
- ・ 職員の質
- ・ コーディネーターの質
- ・ 学生との距離に関する話
- ・ 障がい者発見（把握）のための取り組み事例
- ・ 発見と支援継続の取組事例
- ・ 現在行っている情報保障についての検証・評価方法
- ・ 学生対応で困った事例、また、その時にどのように解決をしたのか、という部分に重点を置いた懇談会を実施していただきたい
- ・ 学生組織の具体例
- ・ 重度身体障がい学生の対応
- ・ 学外の行政機関との連携
- ・ 精神系の障がいを持つ学生への支援について
- ・ 支援学生のネットワークの構築や各大学での確保の現状について
- ・ 具体的な事例をお聞かせいただきたいです。障害は学生ここによって様々で、支援の仕方や方法も個々によって違いますが、だからこそ、どんな支援があるのか、事例をもとに知りたいです。勉強したいです

3. 分科会の満足度



【その他・感想】

- ・同じ様な職務を他大学の職員と知り合えたことは非常にありがたい。
- ・各大学の取り組みが分かり、今後活かせることができると感じます。この懇談会を、今後発展して頂きたいと思います。
- ・大きな大学や小さな大学、それぞれ事情が分かりました。私たちは、その学生にとって、「どうすることが一番良いか」を恒に問いながら支援をしなければならないと思います。
- ・本学に障害学生がいらないため（発達障害を除く）、今日の講演等は今後の参考として聞かせて頂きました。分科会は、非常にアットホームな雰囲気です。自由に発言でき、とても有意義な時間となりました。ありがとうございました。
- ・本学は障害者支援に対して、年数が浅く、他大学の種々の事例はとても参考になります。ありがとうございました。
- ・初めて参加させていただきましたが、大変参考になりました。各大学様の取り組みに頭が下がる思いです。私共の大学でも今後、活かしていきたいと考えます。又、大学同士の連携の大切さも感じました。これからもどうぞよろしくお願い申し上げます。
- ・これからもこの分野の諸問題を取り上げてほしい。
- ・障害のある学生支援に特に議論が集中した訳ではなかったが、障害のある学生支援充実が一般の学生に対する支援の充実につながればと思う。又、支援学生の「支援と連携」についても議論したい。
- ・たくさんのお話が聞けたことと、もっと聞きたいと思いました。ありがとうございました。
- ・他大学の取組事例を伺うことができ、とても参考になりました。ありがとうございました。
- ・同様なケースを抱えている担当の方のお話が聞いて良かったと思う。大学の現状を把握

するとともに、学生を中心とした支援を積み重ねて、体制を整えていくことが大切であると感じた。

- ・個々の対応事例など勉強になりました。一部の人が話すことが多かったので、もう少し全体にふっていただけると良いかなと思いました。ありがとうございました。
- ・分科会では各大学の取り組みが聞けて参考になった。事例は理解しやすく、支援のあり方、切実さが身にしみてきた。大学に持ち帰り、職員全員に伝えたい情報がありました。
- ・大変勉強になりました。ありがとうございました。今後の業務の糧となりました。懇談会の開催を年度末ではなく、年末頃を希望します。
- ・学生への支援・対応について、(特に発達障害の学生に対する) 具体的な支援方法・体制について各大学の状況を聞くことができました。各大学さんでも、より具体的に取り組みが進みつつあることを感じました。情報交換をさせていただくことは、支援を考え取り組む上で、大変参考になりますので、継続して今後も参加させていただきたいです。
- ・コンパクトで参加し易い。
- ・教員は最大の支援担当者という言葉に大変感銘を受けると同時に、教員を巻き込むことの難しさを実感しています。分科会では様々な大学での課題や取り組みを伺うことが出来、大変勉強になりました。(各大学の支援の違いが面白く感じられました。) 進行役の方が、ご自身の大学での取り組み例なども含めて、的確なご意見や感想、ヒントをいただき、大変参考になりました。ありがとうございました。
- ・本学では、障がい学生の情報共有がうまく取れていないこともあり、他大学の事例を聞いて参考になる部分も多くあった。また、今後も懇談会に参加し続けたい。
- ・本日も大変参考になりました。ありがとうございました。
- ・大学の規模によった様々な支援の形をご教授いただけて勉強になりました。支援の限界論は今後、私も考えていきたい課題です。
- ・分科会では、意見交換、情報交換をし、勉強になった。参考にさせていただき、学内での学習支援がよりよいものになるよう努めます。ありがとうございました。
- ・分科会での情報交換は、他大学の様々な事例を聞くことができ、大変ためになりました。

以上